

開講科目名 / Course	健康情報学	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期、3 学期 / Second,Third	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	野津 昭文	
担当教員名 / Instructor	野津 昭文	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	10	
科目の目的と概要	人口統計や傷病統計など保健統計の調査法とその概要、ならびに疫学の基礎を学ぶ。健康情報とその様々な指標に関して、情報の収集から分析、解釈を体系的に学ぶことを通じて、集団の健康の現状と推移について理解を深めるとともに、それら情報を適切に理解し活用する能力を養う。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主要な保健統計指標の意味を説明することができる。 2. 保健統計指標の値と動向を述べるができる。 3. 基本的な疫学調査法を説明することができる。 4. 疫学研究成果など、保健医療におけるエビデンスを解釈できる。 	
DPとの対応	2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 健康情報の基礎、健康情報の収集 02. 疫学(1) 疫学の考え方、因果推論 03. 疫学(2) 疫学調査法 04. 疫学(3) 疫学指標、バイアス 05. 検査やスクリーニングの理論 06. 保健統計概論 07. 人口統計(1) 人口静態統計 08. 人口統計(2) 人口動態統計・生命表 09. 傷病に関する保健統計 10. 医療や生活に関連する統計 	
その他の授業の工夫	1年次必修科目「健康情報処理演習 ・ 」では、講義とリンクした内容の演習が含まれます。また、オンラインによる「理解確認のための小テスト（評価外）」や質問への対応などを行います。	
時間外学修	事前学修：事前に公開される講義資料に基づいて予習する（7h）。 事後学修：講義資料を利用して、学習の整理、復習を行う。理解を確認するためのオンライン小テストを必要に応じて反復する（12h）。	
評価方法と評価割合	定期試験（筆記）100%	
テキスト	前半：資料を配付する。 後半：国民衛生の動向2026/2027（厚生統計協会）	
参考書	適宜紹介する。	
履修する上で必要な要件	健康情報処理演習 ・ で表計算ソフトウェアや統計ソフトウェアの基本的技能を修得していることが、自己学習や当科目範囲の演習課題の達成に必要となります。	
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		